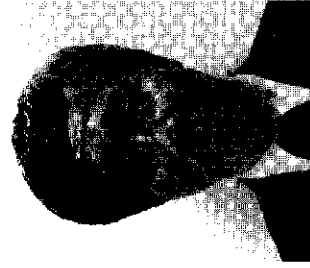


部長挨拶

慶應義塾体育会バドミントン部部长

田村俊作



暑かった夏も過ぎ、今年もまた早慶戦の季節がやって参りました。第61回早慶バドミントン定期戦おめでとうございます。

昨年創部70周年を迎えた慶應義塾体育会バドミントン部では、会長や監督などの役員を一新し、新たな気持ちで部の活動強化に取り組んでいます。また、部員諸君は今夏もまた、酷暑のなかを、日吉記念館での合宿や猛練習に耐え、この秋に備えてきました。

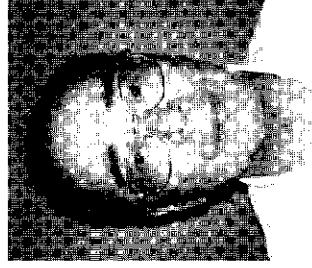
このところの両校には歴然とした力の差があるため、勝敗ははじめからわかっているのかもしれない。しかし、わが慶應も、遅まきながら選手の強化に取り組んでおり、徐々にはありますが、その成果もあがってきています。OBの皆さんもまた、勝利をめざしてトレーニングを積んできました。

何よりも早慶戦には、リーグ戦などにはない、単なる勝ち負けを超えた独特の雰囲気があります。それは61回という歴史の重みであり、早慶というライバル校がもつ伝統の重みでありましょう。両校の部員も、OBも、そして観客も、力一杯プレーをし、力の限り応援をして、さらには懇親会で勝敗を忘れて親交を深め、今日という一日を精一杯楽しもうではありませんか。

会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長

鈴木英夫



今年のOB総会で、小杉先輩の後任の三田バドミントンクラブ会長になりました、昭和47年卒の鈴木英夫と申します。

早稲田の今井監督とは同期で、主将戦ではファイナルに持ち込めたものの、最後に力負けしたことが昨日のように思い出されます。また、早稲田の1年先輩の佐倉和明さんとは鹿児島・千葉国体でダブルスを組み、新婚で美人の奥さんに手料理を御馳走になったりしました。また、実業団等に出ていた頃は何人もの早稲田のOBの方にもお世話になりました。この場を借りて早稲田のOBの皆様にお礼を申し上げます。

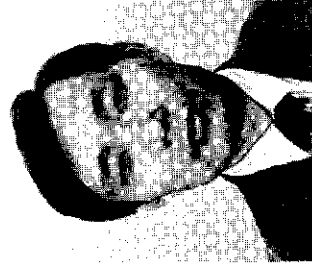
さて、第61回早慶バドミントン定期戦が開催されます。両校の春のリーグ戦結果は、男子が早稲田の1部3位に対し慶應は4部6位（入替戦で5部降格）、女子も早稲田の1部5位に対し慶應は4部1位（入替戦で3部昇格）であり、その実力に大きな差があることは否めません。

しかし、慶應の学生諸君には、相手が1部校であっても委縮することなく、思いきってぶつかっていいって、熱戦を繰り広げてほしいと思います。

最後に、2020年オリンピックが東京で開催されることになりましたが、将来を含めた早慶両校の選手・OBの中から日本の代表選手が出て、大活躍してくれることを夢見ております。

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部長 関 一誠



第61回早慶戦開催おめでとうございます。

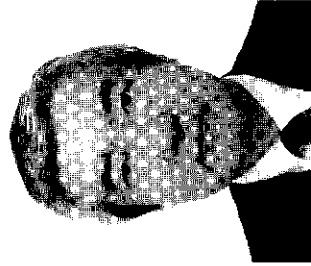
バドミントン競技は、日本では戦後に盛んになったスポーツです。前回のオリンピックでは選手の活躍が大きな話題となり、マスコミの取り上げ方も大きく、次期オリンピックへの期待度が各方面から注目されているところですが、バドミントンがメジャー化した要因のパイオニア的存在はなんとと言っても早慶バドミントン定期戦です。日本最古の大学定期戦であり、築き上げられた伝統の中で早慶のプレイヤーが国内外で担ってきた功績は計り知れないものがあります。この伝統は現在も後輩たちには受け継がれ、国内はもとより、国際的にもユニバーシアード、オリンピックなどに多くの選手・役員が大活躍しております。

一方、東北大震災があつてからというもの、「今までに経験したことのない」と言う言葉が日常的に使われ、特に今年の夏は猛暑・酷暑と言う言葉では語り尽くせないほどに暑い毎日でした。暑さだけでなく、日本中が災害に苛まれている感があります。時としてスポーツ活動も中断せざるを得ない状況もあるかと思えますが、それら多くの不安材料を克服しながらもスポーツのもつ普遍さや個々の向上心に支えられ、早慶両校の選手達はそれぞれの目標に向かって日ごろの鍛錬に努力してきたことと思えます。この努力の成果を競い、ぶつけ合い、切磋琢磨することの舞台が早慶戦です。選手だけでなく観衆も巻き込んで魅了する素晴らしいバドミントンを見せてくれるものと期待しております。

両校の更なる活躍を祈念しております。

会長挨拶

稲門バドミントンクラブ会長 登坂 洋



第61回早慶バドミントン定期戦おめでとうございます。私は今年度から新たに会長に就任いたしました。早慶もOB会長に鈴木さんが就任され、同時期に両校の監督を務めたことがある二人でまた両校の力になればと考えております。早稲田大学が創部した年に、10年先輩だった慶應大学から、早慶戦をしようと呼びかけていただき、その後中断なく開催されてきたので、早稲田は創部61年日となります。その創部に携わり、慶應大学の皆様にも応援をいただきながら、我が部の発展に並々なぬ 尽力をされた津田先輩が4月に、菊地先輩が6月に亡くなりました。その葬儀には 慶應のOBの方々も多数参加いただき、あらためて御礼を申し上げます。

両校の強い結びつきを常々感じておりますが、昨年7月慶應OBの徳用さんの旅館「法悦」に私の宿泊予定当日、徳用さんが、亡くられ、あの包容力のある優しいお顔を拝見し、お焼香させていただきました。その後早慶の仲間共々お世話になっております。私の卒業した昭和41年の企運動部の同期会は、早稲田は「4141(よいよい)会」慶應には「慶應会」があり、お互いの総会や春秋のゴルフ大会等々、良き友として50年近い 交流を続けています。将来、同様に親しいOB仲間として繋がっていくであろう両校の学生諸君！ 今日このこの全員参加の総力戦は、勝負にこだわり全力でのプレーをしてほしい。早稲田が初めて勝った時も主将が負傷欠場しながら、下級生の活躍で、8-7で 勝ったのですから。両校の熱戦を楽しみにしております。

早慶戦。それは、どんなに実力差があっても、我々の変わらぬ目標です。

今から24年前となる現役時代、15試合（10単5複）の勝敗で争う早慶戦は、正に部員全員による総力戦であることから、部全体の目標として「早慶戦勝利」を掲げ、「打倒早稲田」を実現するために部員全員の「基礎体力」・「基礎技術」の底上げを図り、「打倒早稲田」を合言葉に早慶戦当日を迎えたことを今も昨日の事のように思い出します。

今年の早慶戦は監督として迎える初めての年となりますが、早慶戦への想いは全く変わりありません。

「打倒早稲田」を実現するためには何が必要か、現在の慶応の課題は何か、改めて「WHAIT」を洗い出し、その課題を克服して、日頃の練習を“結果”に結び付けていくためにはどのような練習が必要か、「HOW」を考え、この一年間、トレーニング、基礎打ち、ノック、2対1等、「基礎体力」・「基礎技術」の底上げに注力した練習を積み重ね、「打倒早稲田」の目標に向けて最善を尽くして参りました。

慶應バドミントン部は、五月女前監督時代から続く「プレーヤーである以上、高位を目指し、目標に向けて努力を惜しまず、如何なる環境においても最善を尽くす」との想いも引き継ぎ、目標達成に至るまでの「プロセス」とプレーヤーとしての「心構え」の大切さを一時も忘れることなく、「強くなりたい」というピュアな気持ちを口々の練習にぶつけ、本日の早慶戦を迎えました。

慶應の現役諸君、結果に拘り、1ポイントでも、1セットでも、1ゲームでも、より多くの勝利を勝ち取り、これまでの努力の成果を思う存分発揮して欲しい。

最後になりましたが、早稲田の現役諸君、是非とも諸君の実力を慶應に見せつけてください。慶應は今日の早慶戦で対戦した諸君との試合を糧にして一歩一歩前進して行きます。

KEIO VS WASEDA

特殊鋼他各種金属素材の切断加工販売いたします。

五味洵鋼鉄株式会社

代表取締役 五味洵 努 (昭和63年慶應大学法学部卒)

本 社 横浜市都筑区川向町922-26

TEL045(474)4560 FAX045(474)0003

E-mail: go3buchi@f3.dion.ne.jp

郡山支店 福島県郡山市喜久田町菖蒲池22-165

TEL0249(59)1511 FAX0249(59)1516

今年も早慶両校の現役、OBが一同に会して競い合う早慶戦がやってきました。この伝統ある定期戦も今年で第61回を迎えることになりました。これもひとえに諸先輩方の努力と熱意の賜物と感謝申し上げます。

今年も監督として戦えることに感謝するとともに大変光栄であり嬉しく思います。直前の東日本学生選手権大会では男子は団体準優勝、女子は第3位と大健闘し、今年もこの定期戦に向けて学生がいいスタートを切ったことを嬉しく思います。まだ、関東学生秋季リーグ戦、インカレと大会は続き、体調管理が重要となりますが男女とも、より良い結果を残せるよう、充分に準備して精進していきたく思います。期待してください。

さて、今年の定期戦ですが、全員で丸となり慶応に臨み、是非勝利をものにしたいと思います。しかし、いつも独特の雰囲気の中で行われる早慶戦は過去いくつもの名勝負が実力を超越したところで勝敗がついて来ました。選手諸君には今年も気合い負けせず、日頃の練習の成果を充分に発揮し早稲田らしく悔いのないプレイを見せてほしいと思います。特に4年生、丸尾、嘉村、土井、田中、亀田、関川には学生最後の定期戦として、後輩達の見本となるよう全力をつくして必ず勝利してもらいたい。そして、良き思い出をつくってください。最後に、今年も慶応の現役、OB諸氏と共に良い試合を展開し、より両校の友好が深まることを望みます。

WASEDA VS KEIO



早稲田店

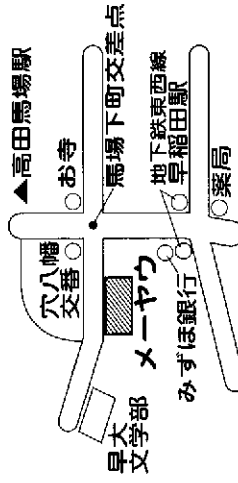
営業時間

月～金 11:00AM～22:00PM

土 11:00AM～20:00PM

日 祝休

メーヤウとは、当店の味の故郷…
タイの北部の小さな村の名前です。
当店の料理は、一度ではなかなか
御理解頂けないかもしれませんが、
慣れて頂ければ必ず美味しさがわ
かっていただけると確信しておりま
すのでよろしくお願い申し上げます。



〒162-0045 東京都新宿区馬場下町18-9秋山ビル2F TEL・FAX 03-5273-3770

諏訪 芳博

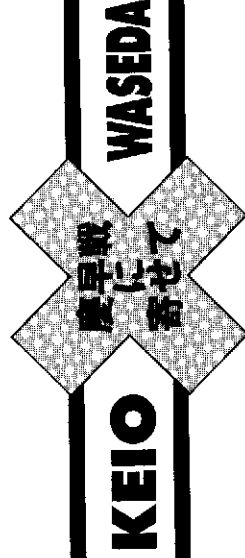
61回目の慶早戦の開催、誠におめでとうございます。

また、この大会の運営に、本日まで、そして当日、鋭意ご尽力された関係各位に心より敬意を表します。さて、昨今の慶早戦の結果を見ていると、塾員として甚ださみしい限りです。私が現役だった頃（昭和51年～55年）、男子はリーグ戦結果では早稲田に見劣りしていましたが、慶早戦の結果においては勝利したり、負けても総力戦として良い結果を納めていました。それだけ、少数の勝負では早稲田に歯が立たなかったけれど、総力戦（5W10S）では底力を発揮できていたのだと思っています。特に13年振りに慶早戦で勝利した昭和52年の時は、そのメンバー一人ひとりが「勝つ」ことに対して異常なまでの執念を持っていました。ただ、「勝つ」それだけのことに執念を持って試合に臨んでいた記憶があります。私も全身痠撃寸前で当時の主将の宮崎さんとダブルスを組んで試合をしていました。ただ、「勝つ」ことだけを目標にして……。

今は、残念ながら「力量の差」、「技術の差」、「気持ち」などがあります。でも、「気持ち」だけは対等であると信じています。「陸の正者 慶應」に相応しい選手であるために「心の強い」慶應でなければなりません。先ずは「弱いもう一人の自分」に負けないスピリッツを持って、少しずつでもいいから竹鼻特別コ一チの指導を受けて強くなり、必ず「打倒早稲田」を実現しましょう。

「勝つ」喜びを知った人は必ず「さらに大きな支えになっていくと信じています。それ、バドミントン界で強くなるだけでなく、社会人になっても自分自身の大きな支えになっていくと信じています。

今回の慶早も、「勝つ」という気持ちを大切に素晴らしい試合をしてもらいたいと期待しています。



慶應義塾大学 文学部 昭和46年卒
川崎美耶

早慶戦も昨年記念すべき60回・還暦を迎えることができ、向校長きに涉り改めて諸先輩方のご活躍・ご尽力あつてあつてこそ感謝申し上げます。我が女子部も、おかげさまで記録によると昭和29年創部とありますので本年60周年を迎えることができました。

私が入部した年は、ご多分に漏れず相変わらず女子部員不足でリーグ戦・早慶戦参加も危ぶまれる状況でした。その様な状況でしたので、高校時代大した試合実績もない私が幸運にも1年生ながらたくさん試合に出場する機会をいただきました。お蔭様で、吉田監督初め諸先輩・男子部員の方々の温かい応援で頑張ることができました。

当時、慶應では早慶戦前に出場選手にくユニフォーム授与式があり、平部長より直接ユニフォームをお手渡しいただいた事など、試合が近づくと緊張感が増し早慶戦という一種独特の試合の重大さ?をひしひしと感じてまいりました。会場は、初めての早稲田記念会堂、鎌倉住まいの私は遅刻しては大変と前日は眠れず睡眠不足で目をこすりながら会場にたどり着いた記憶があります。

当時も、早稲田の女子部は輝かしくも1部リーグ校、我が慶應は部員不足で4部下位（4部までしかありませんでした）。月とスッポン・天と地ほど実力の差があるのは歴然でした。そのような環境の中で、私達のシャトルのスピードの遅さ?に翻弄されたのか、ダブルスで久々の一矢を報いた事が今でも記憶に残っています。

その後、早稲田の女子部も一時部員不足で我が部との入れ替え戦にも棄権され、我が女子部が2部昇格と言ったこともありましたが、さすが早稲田さんいっつの間にか立派に一部に復帰されご活躍ですね。わが部も早稲田さんに追いつけ追い越せと日々若い現役達は日夜練習に励んでおります。どうか、両校諸先輩方におかれましては今後とも若い現役達を厳しく・やさしくご指導いただきたくお願い申し上げます。

男子も現在不本意ながら5部に甘んじておりますが、早慶戦という大きな舞台で1ポイント・1ゲーム・1勝でも多くも取る覚悟で練習しておりますので伝統に残るような試合を楽しみに両校の熱戦を期待しております。

最後に、今回この定期戦開催に当たり多大なご尽力・ご協力をいただきました関係各位・準備委員の皆様には深く御礼申し上げます。

竹内裕詞

第61回の早慶バドミントン定期戦の開催、心よりお慶び申し上げます。今年で61年目となる早慶バドミントン定期戦ですが、61年前から現在に至るまで向校現役選手が切磋琢磨し、勝利を手にする為に日々練習をしてきたことは容易に想像が出来ます。61年間の歴史の重さ、慶早戦の勝利の為に流した汗と涙はこの慶早戦でしか存在し得ないもので、その中の4年間に私も現役選手として在籍出来たことを誇りに思います。

私が現役選手として慶早戦に携わったのは2008～2011年の4年間に成りますが、その中でも一番忘れられない試合は私が4年生の時に戦った及川君とのシングルの試合でした。

私は当時ヘルニアで戦線離脱していた、レギュラーから外れたのを覚えています。全ては慶早戦での勝利のため、慶して必ず勝ちたい。」という思いでリハビリ、練習も頑張れたのを覚えています。全ては慶早戦での勝利のため、慶早戦でライバルに勝つため。戦期の4年生での慶早戦で勝ち取ったシングルスでの一勝は私にとっての宝物です。

月日は早いもので慶應義塾体育会バドミントン部を引退して2年経ちますが、現在コーチとして関わらせて頂いておられます。慶應現役諸君は毎日慶早戦勝利に向けて日々練習をしております。苦しい練習であっても互いに声を掛け合ったり、鼓舞し合いながらより高みを目指しております。

慶應現役の皆さん

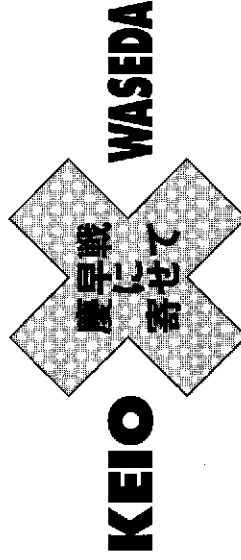
試合に出る選手、サポートするメンバー全員が気持ちを揃えて早稲田に向かって下さい。全員が「勝利」という目標に向かって行動出来てこそ初めて早稲田に勝利する可能性が出てきます。一つの甘えも許さない厳しさを持って臨んで下さい。

早稲田現役の皆さん

全力で慶應を潰して下さい。彼らは何かのチャンスを見つけては怪けることなく攻めていくでしょう。それを一蹴するくらいの方で叩き潰して下さい。

そして両校の4年生にとっては慶早戦が大学最期の試合になるかと思えます。後悔することのないよう自身の足跡を残して下さい。それを見て後輩が奮起することは言うまでもありません。様々な思いの詰まったバトンを3年生以下に渡せるよう1秒足りとも無駄にしないように頑張ってください。

最後になりますが、本大会開催にあたり準備・運営にご尽力下さった部長、監督、コーチ、諸先輩方、諸関係者の皆様方に感謝の意を表すると共に、両校の益々のご発展をお祈り申し上げます。



祝 早慶バドミントン定期戦

いつもご利用ありがとうございます。

OB・OGの皆様にも同窓会・クラス会・各種パーティーのご予約承っております。

慶應義塾日吉フアカルテイルアウンジ

営業時間 AM 11:00～PM 8:00

定休日 日・祝日（パーティー予約については応相談）

慶應義塾大学 文学部 平成25年卒 (前年度主将)

川口 太希

第61回の慶早バドミントン定期戦の開催、誠にありがとうございます。

今年もこうして慶早戦の新たな歴史が刻まれる瞬間に立ち会えることが、非常に光栄であります。これまで過去60年の歴史を積み上げてきてくださった早慶両校の諸先輩方に感謝の気持ちで一杯であります。また同時に私が昨年、記念館で村上君と主将戦を戦ったあの瞬間から、もう一年が経ってしまった時間の早さに、ただただ驚くばかりです。

バドミントン界では、先日のヨネックスオープンジャパンで16歳の日本女子選手が日本勢初、そして史上最年少での優勝という歴史的快挙が生まれました。世界の競技レベルが日進月歩で進む中、日本の選手が世界の歴史を塗り替えたことは非常に喜ばしいことでもあります。彼女の活躍によって世界を舞台に戦う日本人は勇気付けられるだけでなく、日本人の目指すべき目標や競技レベル自体が、もともと高みへ向かっていくのではないのでしょうか。

さて、早慶戦に話を移しましょう。早慶という存在は切磋琢磨できるかけがえのない存在です。我々慶應にとつて、早稲田は永遠のライバルであります。早稲田の間には実力差があることで我々慶應は、自らを奮い立たせ挑戦し続けることができます。確かに昨今、両校の間には実力差があることは事実です。私自身、昨年の村上君との主将戦では、これまで60年の間、脈々と受け継がれ、積み重ねられた早慶両校の諸先輩方の想いの重みを感じながら、なんとか一矢報いてやろう、慶應の1本に懸ける気持ちを実践したい、という一心で戦っておりました。結果、早稲田の壁は厚く、私が主将としてチームを率いた昨年の早慶戦では、男女通じて高田・寺内ペアの1ポイントが唯一の勝利でした。

しかし、我々慶應は早稲田に返り討ちにされ、引退される4年生の背中を見ながら、この戦いが終わることに「来年こそは!」と決意を新たに一年間必死に練習に挑み、更なる高みを目指すことができました。この想いは本日、コートに立っている現役部員も変わりません。

いよいよ始まる最高のライバルとのこの戦いに、慶應の選手には一年間のチームの集大成を出し切って欲しいと思います。そして、3年生以下の部員は目の前に起こる戦いから目を離さず、一挙手一投足を自分の目に焼き付け、今後の自分自身の、慶應バドミントンの糧に変えて欲しいです。現役部員、OB・OGの皆様方のそうしたすべてのチーム慶應としての想いが積み重なり、永遠のライバルである早稲田という壁を打ち破る日が、いつの日か必ずや訪れること、そして、早慶両校の今後の更なる繁栄を期して、私からの言葉を締めさせて頂きます。



全300席! 大型座敷居酒屋

シブシティ市場
まんぷく亭
— BIG SPACE —

びすとろいちば まんぷくとい

大型座敷居酒屋 まんぷく亭

アクセス

JR高田馬場駅徒歩1分
地下鉄東西線高田馬場駅徒歩2分

TEL

03-3208-7237

今年も慶早バドミントン定期戦という伝統の戦いを迎えられることに大変喜びを感じております。また歴史あるこの慶早戦に慶應の主将として出場できることを大変誇りに感じております。

この慶早戦の開催にあたりご尽力いただいた全ての方々に心から御礼申し上げます。

今年の慶應は「3部昇格」を目標に掲げチームが始動しました。しかし、迎えた春季リーグ戦での結果は真逆の「5部降格」。3年前の真栄城主将の春季リーグ戦を鮮明に思い出しました。どこに問題があったのか、自分達に何が足りていなかったのか考え抜きました。そこからひたすら練習。辛い時は各々があの降格の悔しい瞬間を思い出して自分に鞭を打ってきました。とにかく強くになりたい、勝ちたいという思いを持って。

しかし、この経験は必ずしも悪いものばかりをもたらしたわけではありませんでした。降格後、部長達の練習での目の色が変わり、もう絶対に負けない、絶対に秋で昇格してやるという強い意志をもって練習に取り組んできました。

あの降格で慶應はさらになくたくましく、勝ちに貪欲なチームに変わりました。竹鼻新コーチのもと、慶應は「昇格できるチーム」に変わりました。口だけでなく、練習に臨む姿勢が変わりました。この“新生”慶應をこの慶早戦で見せします。

私達、慶應にとってこの慶早戦はその年の集大成となる試合です。リーグ戦等の結果を見れば差がある事は歴然としています。しかし、慶早戦ではその先入観を一切捨て去り本気で勝ちにいきます。早稲田諸君、私達慶應は今年の集大成を全てあなた達にぶつけることをここに誓います。

最後になりますが、私にとっては部活動4年間の集大成になります。ここまでやってこられたのは監督、コーチ、OBOGの方々、今までご指導くださった先輩方、今までついて来てくれた後輩達、そして今まで一緒にチームを引っ張ってきてくれた最高の同期達のおかげであります。心の底から感謝を申し上げ主将の抱負とさせていただきます。

KEIO WASEDA

「歴史と伝統」!! 手作りの店
部員会に! 其の他のパーティーに!

山 食

慶應義塾三田キャンパス内
TEL 03 (3453) 5971

KEIO



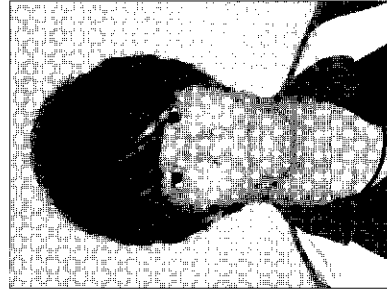
主将

八木 勤輔

経済 4

土佐 (高知)

今年もビーチで黒い肌
に仕上げて、ついに最
後の早慶戦を迎えた彼。
守るべきもののために
ボロボロの体になりな
がらも捨て身のジャンユ
ピング直角スマスを
を撃ちまくる！



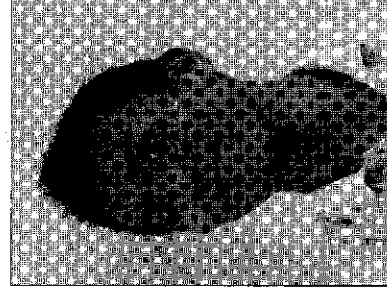
副将

阪本 暁洋

文 4

西武文理 (埼玉)

我らがアツキー！みんな
のアツキー！はち切
れんばかりでちよつと
かわいそうなユニフォーム
は、血の滲む4年
間の筋肉強化の証であ
る。さあ、みんな、T
シャツ脱ごうぜ！



主務 平林 文4



松本深志（長野）
いつも明るい笑顔と軽快なジョークで部員に笑いを提供する彼は、慶應バドミントン部の元氣印！今日も髭をしっかり刺って、部員を笑わせにかかると！

主務 梶生 理工4



慶應義塾志木（埼玉）
最近の主務の仕事の合間を見つけては映画館とバドテイングセンターに足繁く通うきりゆー！そんな、きりゆー！！は練習後の自主練習も欠かさず行い、もはや最強と化した！

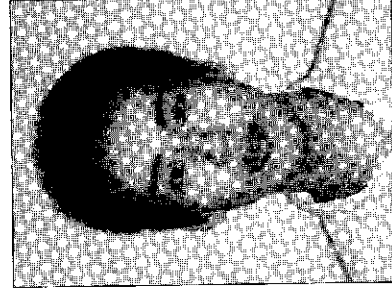
櫻本 諭 経済4



サレジオ学院（神奈川）

1年間の留学を終えた櫻本。スウェーデンでの生活を経ても、彼の体は見違えず細い。北欧相変わらず細い。北欧仕立てのスパーショットで早稲田を脅かす。

前川 潤 経済4



部室のヘビューザー潤子。同期に勝つために日々の練習後にゲームの練習。ゲームのコマンド入力も速い彼のスマッシュは早稲田のレシーブをも買ぐ。

大山 研一郎 商4



倉敷青陵（岡山）

過酷なトレーニング期間も怪我一つしない不死身のヤマオオ。最強の耐久力をみせる肉体は早稲田のショットにも難なく耐えてみせるだろう。

梶原 彰宏 商4



栄光学園（神奈川）

写真は4年前とまったく同じに見えない。使いは変わらないが、目は変わっていないが、彼の周りにはいつも彼を慕い、食事に誘う後輩の姿が。そこには4年間で築き上げた先輩としての風格がある。

坪井 知也 理工4



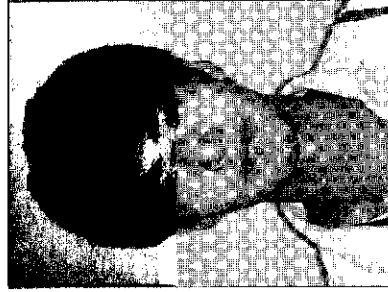
西湘（神奈川）

実験室に1日12時間以上こもるという人間離れした記録を樹立したス彼。どんな些細なミスにもすぐぐにツッコミをいれる能力はその賜物と言えらるだろう。そこで培われた精神力で早稲田に勝つ！

副務 前表 和宏 魔法3

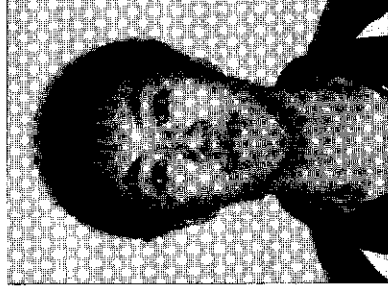


慶應義塾志木（埼玉）
バドも清舌も着実に成長している前表。納得し長いままで絶対に妥協しない！前髪のパーマも満足できず何度も美容院に通い詰めほど...そんな彼の口癖は、「いっなきやしょーー！」



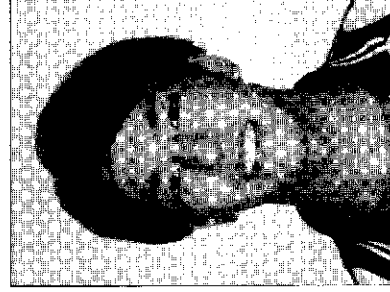
高地

高田 法政3
土佐 高知をこよなく愛する巨神兵。「たっすい(中途半端の意。土佐弁。)がはいかん」を合言葉にバドも酒も一切手を抜かない！オフには、ひとり水族館でお魚に人生相談している。



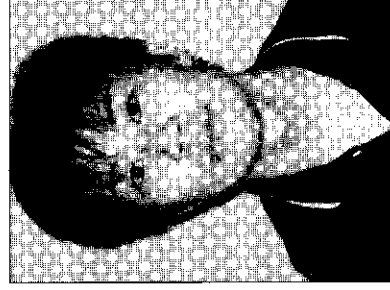
寺内 俊樹

法政3
宇都宮 (栃木)
おごらないと言って、おごってくれる。家に入れてくれないと言っ、入って来てくれる。私生活でツンデレな彼は、プレ〜も実にツンデレである。デレを見たら、注意が必要だ。



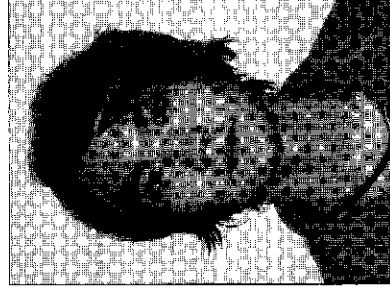
程島 朋海

商3
平塚江南 (神奈川県)
毎日4/1。「口から出ませ」とは嘘(と下ネタ)が大好きなのだ。ための言葉だ。どそんな姿に騙されるな。プレーは真っ直ぐ、直球、ストリート〜スえ！



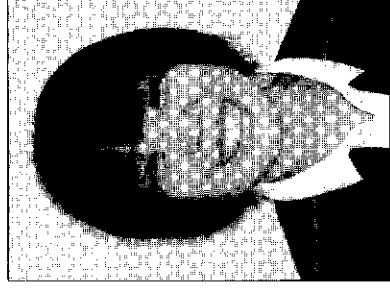
池田 岳弘

理工3
熊谷西 (埼玉)
バドミントンもさることながら、天然っぷりとエロ詩吟の実力を上げた池ちゃん。今日も練習中にチアの姿を見て、邪念がよぎる〜。あると思いません!!



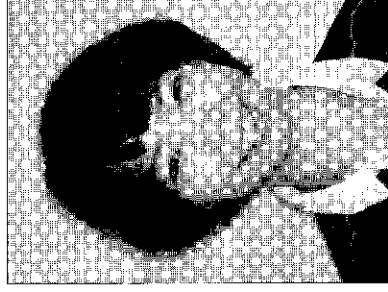
京河 凌平

環境3
松山東 (愛媛)
チャラいどころか、先輩を心から敬い、後輩には慈愛に満ちている。プレーもコートを走り回って泥臭くつなぐ...かも。そういうことにしておこう。仮に、そうじゃなくても...



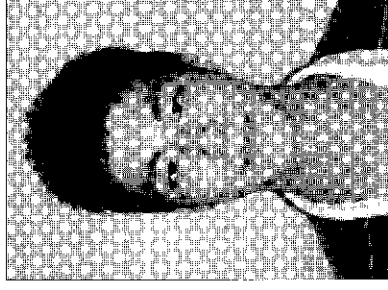
女子主将 安藤 美晴

商3
新宿 (東京)
我が部の「ゆるキヤラ」と一部で噂されているが、本当は頼れる女子部の主将である。最近激やせしたのだから？謎は深まるばかり。詳しくはWebで!



女子主務 関 衿沙

経済3
慶應義塾女子 (東京)
言わずと知れた、最強のマネージャー。日々進化を続ける彼女。最近社長秘書も視野にいれているそう。向かうところ敵なしである。



内堀 光馬

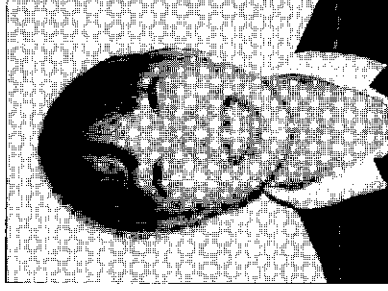
文2
浅野 (神奈川県)
去年の早慶戦後、ノコノコやっけて入り部したリアクション芸人内堀。想像を絶するリアクションと持ちネタで数々の困難を切り抜けてきた。早稲田を倒すのはいつか?今でしょ!!

大川 悠奈
総合1
小石川 (東京)

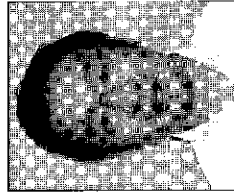


オフの日にはスカイダイ
イビングへ、アラビアド
語は学年トップ、バド
ミントンも急成長！常に
に予想の斜め上を行く
彼女の活躍に目が離せ
ない！

小松 鮎実
環境1
西武台千葉 (千葉)



大事な場面でいつも鼻
血が出ちゃいます。す
べり台から落ちて前歯
がかけましました。でも、
ラケットを持ちましたら誰
にも負けません！ラケ
ットを持ちましたら！！

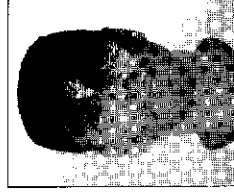


監督
加藤 正裕

Masahiro Kato
平成2年経済学部卒
慶應義塾志木(埼玉)出身
三菱UFJ信託銀行

「哲学者」

物事の本質を考え、追求する。そもそもバドミントンとは何なのか。彼は日々考える。

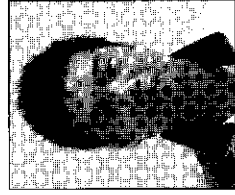


女子監督
加藤 幸司

Koji Kato
昭和57年法学部卒
慶應義塾志木(埼玉)出身
慶應義塾大学体育研究

「探検家」

飽くなき探求心でバドミントンを追い続ける。バドミントンに生涯を捧げる男・加藤幸司。

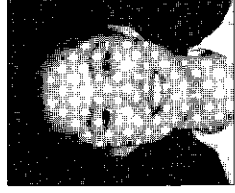


ヘッドコーチ
竹鼻 拓也

Takuya Takehana
法政大学卒
金沢二水(石川)出身
NTTドコモ

「超越者」

情熱はロジックを超越する。シャトルに魂を込めろ！来たカタマを打つだけだ！

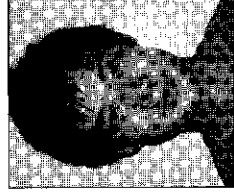


女子コーチ
和栗 恵

Megumi Waguri
平成21年法学部卒
慶應義塾女子(東京)出身
江東区医師会

「正統派女子コーチ」

毎週末アツイ指導をしてくれろ。どんなに激しい羽打ちにもお喋りにも付き合ってくれる。

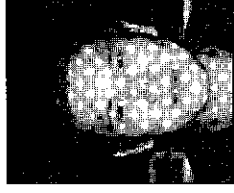


男子コーチ
石岡 洋平

Youhei Ishioka
平成22年経済学部卒
慶應義塾(神奈川)出身
みずほ銀行

「型破りのバンカー」

ベヒーブエイズながらブレイは老練。やられたらやり返す！倍返しだ！

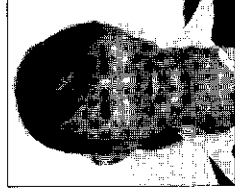


男子コーチ
竹内 裕詞

Hiroshi Takeuchi
平成24年総合政策学部卒
旭丘(愛知)出身
早稲田アカデミー

「やる気スイッチ探します」

彼は現役に関わり掛ける。いつやるか。今でしょ！彼の一言で現役はやる気に満ち溢れる。

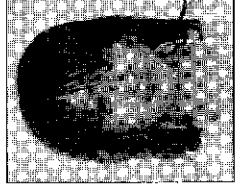


女子コーチ
植田 悠

Haruka Ueda
平成24年環境情報学部卒
九州国際大付属(福岡)出身
全日本空輸

「妖精」

綺麗なフォームとフットワークは健在。お手本のよいうなブレイはいつまでも色褪せない。



マネジメントアドバイザー
石川 陽菜

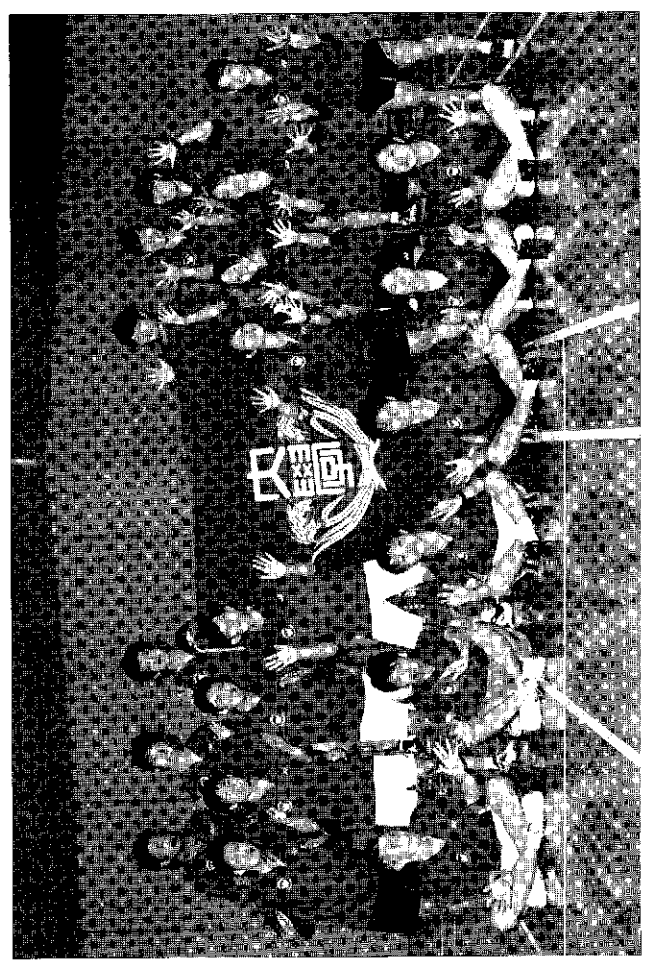
Haruna Ishikawa
平成23年法学部卒
慶應義塾女子(東京)出身
中央大学法科大学院在学中

「経理課」

美麗なアドバイザー。彼女にかかれば、どんな問題も大概解決する。

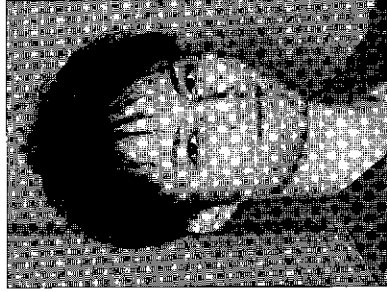
(※) 各コーチの紹介欄に掲載された名言(?)とコメントは、各コーチの手柄や生き様に対して抱いている印象を基に阪本副将が書き綴ったもので、コーチ本人の言葉ではないことをおわりしておきます。

WASEDA



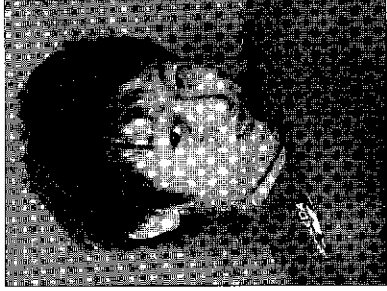
主将 丸尾 亮太郎
スボ科 4

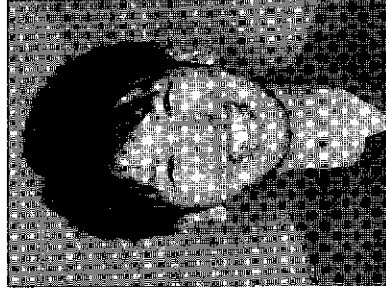
早稲田きつてのすべり
キアラ。試合になると
頼れるキャプテンで子
一ムのエース。ストイ
ックさにおいて右に出
るものはいない。実は
岡田圭右に憧れている
らしい。



嘉村 昌俊
スボ科 4
八代東 (熊本)

「より早くより高くよ
り前で」をモットーに
すばやい動きで相手を
圧倒。特技はムササ
ビ。見たものは少な
い。





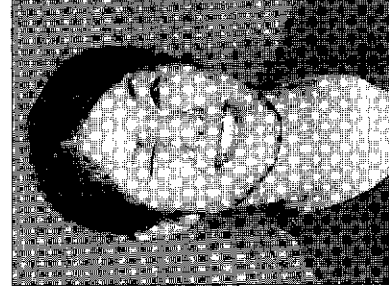
土井 悠也
基幹理工4
広島城北 (広島)

濃厚な唇と内股をあわせ持つ早稲田のお父さん。特技は土井おろし。お酒を飲んだ次日は悪臭を放つ。



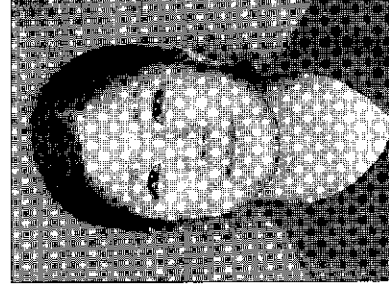
田中 剛
基幹理工4
早稲田学校 (東京)

リアル達磨の巨人。重には人間から受けた攻撃で、Wのマークを作ったそうだ。なんとという早稲田だ。オースメの飲み屋は新宿の「あしあと」みなさん。いっぱいどうですか。



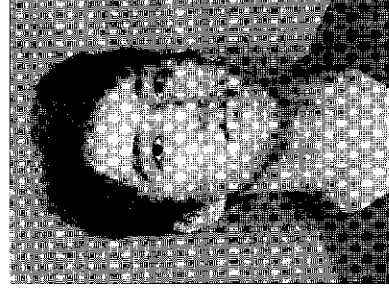
亀田 楓
社会学4
聖ウルスラス英智(宮城)

変幻自在のラケットワークで相手を翻弄する頼れる女子キヤプテン。罰ゲームをかけて勝負を挑むも負け、自ら筋トレするストイックなお茶目な一面も。



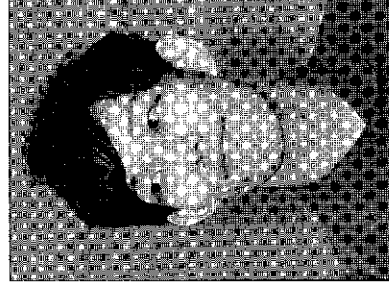
関川 容子
社会学4
新潟青陵 (新潟)

力強いクリアーとドロップで相手を撃破。あの有名な安楽亭の看板娘。なぜだか、サイコキラーと疑われる。



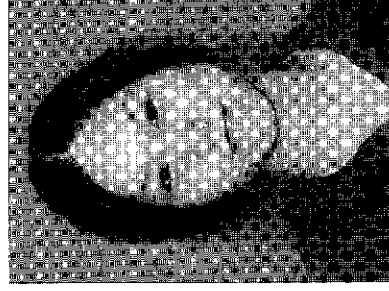
和田 治久
スポ科3
埼玉栄 (埼玉)

彼のふくらはぎの威力は人知を超えている。まさに早稲田のハルウララ。チャーマーミングな天パと独自の滑舌を持ち合わせていることから、日々部員からいじられていく。



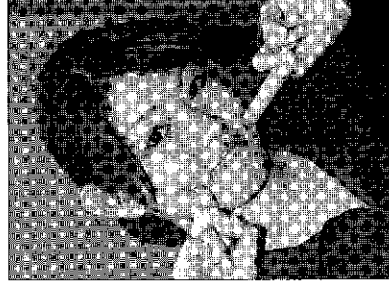
堀ノ内 俊佑
法3
早稲田本庄 (埼玉)

三度の飯より麻雀とお酒と女が大好きなチャラ男です。頭の良さは誰にも負けません。女性がほしい人は私に言っかね。女を落とすテクニック教えてあげる。



上田 真帆
スポ科3
埼玉栄 (埼玉)

フア前から放たれるクロスネットは世界レベル。試合をした相手はみんな口をそろえてこう言った。「まるで魔法にかかったようだ」と。



渡辺 梨沙
スポ科3
札幌静修 (北海道)

ここ最近シングルスプレイヤーへと成長した彼女。今日もインカレシングルス優勝に向けて練習に励んでいる。今年インカレは彼女から目が離せない。

古賀 輝
スボ科2
埼玉栄 (埼玉)



三度の飯より、ギャングルが大好きなのだ。特に、トランプは敵なしで最近では本多と太田をカモにしているという。

齋藤 太一
スボ科2
富岡 (群馬)



人と恐竜のDNAをあわせ持つガオガオキングこと齋藤太一。同期、後輩に対しての当たりがめちゃくちゃ強いが、それは愛情の裏返しなのである。

本多 朝陽
教育2
早稲田学院 (東京)



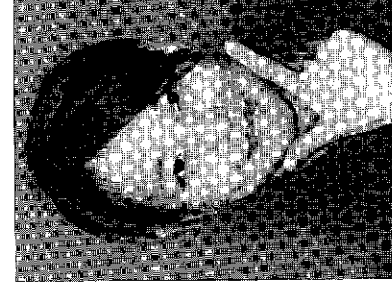
心配ないさーでお馴染みの本多です。最近は劇団四季にはまっています。バイトはうどん屋ではたらいています。今度来てねー。

太田 宗孝
基幹理工2
早稲田学院 (東京)



ラケットは振り回す派の太田君。前世は羊。髪が生えてくるのが早すぎて頭が巨大化し、まれに三頭身に見えることがある。

清水 恵
スボ科2
聖ウルスラ英智 (宮城)



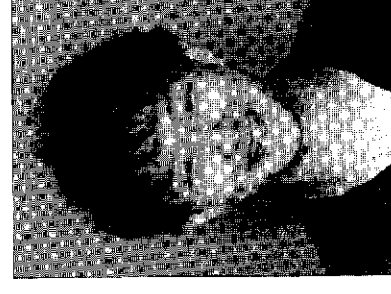
彼女が着いた机の料理はすぐになくなり、隣から残ったのをたたきくほどのがつつきっぷり。それはバドでも発揮され、コート内を縦横無尽に駆け回る。

井上 博貴
政経1
早稲田学院 (東京)



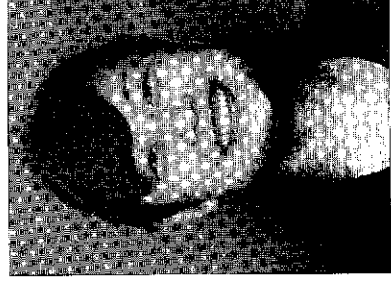
ハーバード大学出身で官僚の父と御茶ノ水大学出身の母を持つエリートヤンキー。そのせいか、相手が誰であろうと基本的に見下している。

松岡 徹
文1
新宿 (東京)



見た目、体格ぼんぼりたぬきの早稲田のマスター的存在！？スタバの店員というおしゃれな一面も。特徴的な笑い方は「あっ、あっ、あっ、あっ、あっ」

島田 きらら
スボ科1
青森山田 (青森)

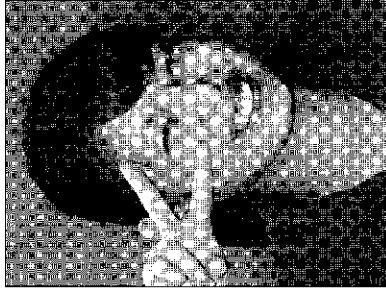


春リーグでは新人賞を受賞した期待のホープ。カラオケ大好きでよく歌を口ずさんでいる。体が柔らかかすぎて、彼女と同じ柔軟は誰もできな

我妻 美沙紀
スボ科1

聖ウルスラ英智(宮城)

カットがえぐい。一人称は「みー」。ゆったりとした口調だが、怒りせると怖いので部員は機嫌を損ねないよう戦々恐々。ろくむいはもうやりたくない。



金森 望
スボ科1

九州国際大学附属(福岡)

やーってまいいりました九州からのおしやれ番長金森です。今年の夏は海に行っってはちんこけました。そこんところよろしくです。

